

審査結果報告書

平成 27 年 2 月 2 日

主 査 氏 名

田中 浩一郎



副 査 氏 名

生地 新



副 査 氏 名

岩瀬 優美



副 査 氏 名

宮岡 等



1. 申請者氏名 : DM10007 木村 理砂

2. 論文テーマ :

Effect of a Brief Training Program based on Cognitive Behavioral Therapy in Improving Work Performance ; Randomized Controlled Trial
(認知行動療法を用いた簡易研修プログラムのワークパフォーマンスに対する効果 ; ランダム化比較試験)

3. 論文審査結果 :

近年、メンタルの問題での休職者が急増しており、職場メンタルヘルス活動はメンタル面の不調を生じてしまった労働者の対応が主となっている。しかし、本来のメンタルヘルス活動は、健康な労働者のこころの健康増進、メンタル面での不調予防であるべきであるが、この方面での取り組みはほとんど行われていない。

申請者らは、健康な労働者の健康増進の取り組みとして、1) 仕事のパフォーマンス向上を目的とした1回の集団教育と3回以上のWeb自己学習を組み合わせた認知行動療法(CBT)を開発し、2) これをランダム化比較試験により検証した。対象はある企業の社員196名で、介入前と介入後3ヶ月の主観的な仕事のパフォーマンスと、主観的なストレス対処能力2項目(考え方の切り替えができるという自信、複数の考え方ができるという自信)の変化を比較したところ、いずれも有意な向上を示した。

学位論文はしっかりした研究手法に立脚し、科学的に健全な結論を得ている。公開審査では、申請者は副査および主査からの質問に適切に答えることができ、この研究の限界点についても正しく理解していた。副査および主査は、学位論文の内容の高さ、質疑応答の的確さから、医学博士の学位にふさわしいと判断した。